

和歌山県看護連盟 連盟だより

つ れ も て

＝ 令和5年度 ＝ 通常総会を終えて

第74号

発行者

和歌山県看護連盟
和歌山市太田4-11-18
リベラルパレス太田501
電話 073-488-6575
FAX 073-488-6580

発行責任者

川村 健太



令和5年6月17日(土) 和歌山県民文化会館 小ホール

2023・7
CONTENTS

「ごあいさつ」	和歌山県看護連盟 会長	川村 健太 ……	2
	公益社団法人 和歌山県看護協会 会長	東 直子 ……	2
「和歌山県民の幸せな暮らしを支えるために」			
	和歌山県知事	岸本 周平 ……	3
令和5年度 和歌山県看護連盟通常総会に参加して ……			4
2023年度 日本看護連盟通常総会 代議員報告 ……			5
青年部「活動報告」 ……			6
「病院アピールコンテスト」 ……			7
入会のご案内・編集後記 他 ……			8



会 長 あ い さ つ



和歌山県看護連盟

会 長 川 村 健 太

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、6月17日に和歌山県看護連盟通常総会が開かれました。これまで感染拡大防止のため、人数制限をしていましたが、4年ぶりに通常開催できたことを非常に嬉しく思います。また、総会前の講演会では和歌山県知事の岸本周平氏にご講演いただきました。和歌山県の歴史や各県との関係、和歌山県の課題やこれから取り組んでいく事、どれも教科書には載ってない貴重な内容でした。

医療と政治は繋がっています。政治の力は行政の迅速な対応を促します。現在、和歌山県看護連盟では看護職国会議員だけでなく、地方議員とも施設訪問をして現場の声を聞いてもらっています。

人員確保や災害の問題など地方で取り組まないといけない課題も多く、少しでも皆さんが安心して働けるように動いてまいります。

今後とも看護連盟の活動にご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



公益社団法人 和歌山県看護協会

会 長 東 直 子

向日葵が毎日に背を伸ばすこの頃、会員の皆さまにはお変わりなく健勝のこととお慶び申し上げます。

台風2号による線状降水帯の影響で記録的な大雨となり、和歌山県に甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

会員の皆様には、平素より看護協会活動にご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

6月12日和歌山県看護連盟通常総会が盛大に開催されました。川村会長は、看護職の働きやすい環境づくり、処遇改善等への積極的な活動に取り組まれていることのご挨拶がありました。また、特別講演「和歌山が最高！だと子どもたちが思う未来を！」と題し、和歌山県知事、岸本周平氏の講演を拝聴させていただき、新たな知識と和歌山県の魅力を再確認する機会となりました。

さて、少子高齢化やそれに伴う疾病構造の変化など、人々の健康や医療を取り巻く環境が大きく変化する中「健康の維持・増進」や「健康寿命の延伸」に大きな関心が寄せられ、保健・医療分野のさらなる充実が求められています。本協会も地域医療を支えるよい看護職を目指して「医療、生活、家族を支える視点」を持った「地域ケアにおける看護機能の強化」などに取り組んでいるところです。しかし、2025年を目前にして慢性的な看護職の確保困難が続いており、看護職の資質向上と県民の健康の保持増進に尽くすためには、看護の分野で多くの課題を抱えています。それらに対応していくためには、「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」というスローガンのもと看護連盟と看護協会が心をつにし、連携することが大切です。

6月13日の日本看護連盟通常総会において、石田まさひろ参議院議員を次期参議院選挙の組織代表者候補予定者に満場一致で決定されました。看護連盟と一丸となって活動してまいりたいと思います。

今後とも、和歌山県看護連盟と看護協会へのご支援を宜しくお願い申し上げます。



ご あ い さ つ



和歌山県知事

岸本 周平

和歌山県民の幸せな暮らしを支えるために

看護職の皆様には、医療、保健、福祉などの様々な分野で、昼夜を問わず活躍しておられますことに厚く御礼申し上げます。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症への対応については、最前線で人々の「いのち」と「暮らし」を守ってくださっていることに心から敬意を表すとともに感謝を申し上げます。

今後は、コロナ禍で顕在化した課題解決のため、健康管理、疾病予防の取組など、看護職の皆様の果たす役割はこれまで以上に大きくなることが見込まれることから、看護職員の養成・確保に向けた取組がより重要となります。

本県では、県内で活躍する看護職員を十分確保できるよう、養成立確保、就業促進、離職防止、そして資質向上の4本柱を中心に取り組んでいるところです。

まず、養成立確保については、看護師等学校養成所に対して、教育資材の充実などの運営支援を行っています。

これまで医療看護系大学の誘致を進めてまいりましたが、東京医療保健大学和歌山看護学部では多くの卒業生が県内に就職、加えて、宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科では、二期生が入学したところです。

次に、就業促進の取組については、高校生を対象にした県内医療機関での体験学習や看護師等学校養成所による進路相談会を開催するとともに、看護学生を対象にした就職説明会や返還免除付きの修学資金の貸与、離職した看護職員に対しては、復職に向けた実務研修などを実施しています。

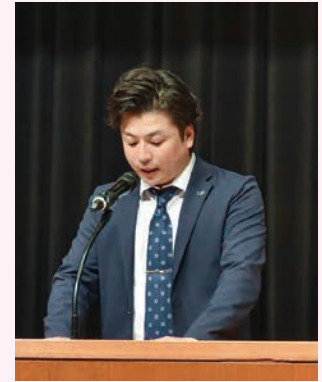
また、離職防止の取組については、働きやすい勤務環境の整備に努める医療機関への支援として、病院内保育所の充実等を図っているところです。

さらに、資質向上の取組については、特にコロナ禍においてクローズアップされた感染管理認定看護師の養成や看護師が実施可能な特定行為の研修支援を行っています。

今年度は、第8次和歌山県保健医療計画策定の年であり、6年後を見据えて、今まさに、看護職員の確保対策について検討を行っているところです。

引き続き、これらの取組を和歌山県看護連盟の皆様と協力しながら推進し、県民一人ひとりが笑顔で暮らすことができるよう努めてまいります。





令和 5 年度 和歌山県看護連盟通常総会に参加して

日本赤十字社和歌山医療センター 矢野 優子



令和 5 年 6 月 17 日、和歌山県看護連盟通常総会が和歌山県民文化会館小ホールで開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症が 5 類に引き下げられたため、四年ぶりに参加者の制限がなくなり、会員 1,113 名のうち、出席者は会員 105 名、委任状 898 名、議長団 2 名、役員 22 名の計 1,027 名での開催となりました。

特別講演として和歌山県知事 岸本周平氏から「和歌山が最高！だと子どもたちが思う未来を！」をテーマにご講演いただきました。先日の台風二号の豪雨災害についてのお話があり、県の近況活動の紹介や和歌山の神話や歴史、文化、観光についてのお話がありました。和歌山には大いなる魅力があり、この魅力を子どもたちに教えていくことで和歌山を誇りに思い、和歌山が発展していく未来につながるというお話でした。

次に和歌山県看護連盟 川村健太会長から挨拶があり、看護職が新型コロナウイルス感染症と向き合い、戦い続けたことで看護の重要性があらためて認識され、看護師の処遇改善補助金や国家公務員医療職俸給表（三）の改正につながったことを話されました。また地方議員との結束を強め、看護の声を議会に届けてもらう活動も始めていること、青年部では看護学生の支援をおこなう活動を行っていることなども報告されました。来賓挨拶の中で、自民党県連幹事長 山下直也氏から、日赤・医大の施設訪問から、看護職のおかれている厳しい現状を伺い、少しでもお力になるよう支援していきたいと、また、自民党県議連「看護を考える会」部会長の山田正彦議員からも、看護職の処遇改善を支援したいとご挨拶を頂きました。

続いて、議長団 2 名が選出され、活動報告と審議が行われました。まず日本看護連盟通常総会の報告があり、会議・研修報告、各支部の活動報告、執行部からの事業報告がありました。審議事項については審議後、賛成多数で承認されました。選挙対策については、日本看護連盟通常総会で再来年の参議院推薦候補者が石田まさひろ氏に決定され、研修会の開催や支部単位での来訪の予定となっていることが報告されました。また地方議員とも相互協力して行くとともに、選挙コンプライアンスの徹底についての研修会開催や SNS で代表議員・連盟のあり方などを発信していくことも報告されました。





2023年度 日本看護連盟通常総会 代議員報告

日高支部 支部長 小川 美知

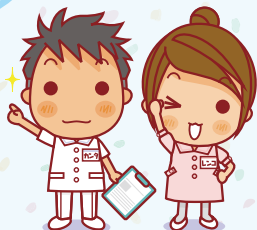
令和5年6月13日、ザ・プリンスパークタワー東京で開催された『2023年度 日本看護連盟通常総会』に代議員として出席したので報告します。

まず、高原静子会長より挨拶があり

「新型コロナウイルス感染症の発症から3年、感染症法上の位置づけが5類感染症に移行することが決定され、人々のいのち・健康と経済活動の発展の両立へと舵がきられました。医療や介護、地域の様々な場所で新型コロナウイルス感染症と闘っている会員の皆様に心から感謝と敬意を表します。コロナ禍において医療や看護提供体制に係る様々な課題が顕在化し、看護職員の確保に関する問題、過酷な労働環境等が多くの国民の知るところとなりました。2022年2月に始まった補助金事業、10月からの看護職員処遇改善評価料の新設、2023年4月国家公務員医療職俸給表(三)の改正と看護職に追い風が吹くことになりました。すべての看護職が「国家公務員医療職俸給表(三)の改正趣旨を理解し、自施設の賃金制度の見直しや改正に取り組むことが求められます。『現場の声』を届ける私たちの組織の声こそが政治を動かす原動力となります。看護政策実現のため、ともに力を合わせ進んでまいりましょう」と挨拶されました。



第27回参議院議員選挙候補予定者について審議し、石田昌宏(現参議院議員)に決定しました。石田昌宏議員より「参議院議員となって、様々な事に、取り組んできた。人材確保はしなければならないが、一人一人の質を上げる事が重要である。質と処遇改善は表裏一体であると考えている。今回、国民の感謝の気持ち、処遇改善を後押しするということを、新型コロナ感染症から学んだ。この流れが今後の看護政策を動かしていく事になると感じた。あらゆる看護の現場で、『今日も一日いい看護ができた』と思えるように取り組んでいきたい」と話されました。



青 年 部 活 動 報 告

和歌山県看護連盟 青年部 浅尾 貴哉

私は、現在訪問看護師をしながら SNS を用いて看護学生の実習や国試対策などのサポート支援を行っています。

元々は病院勤務でしたが、業務優先で働いている自分を見つめ直した時に、看護師の資格を使って他にも出来る事はないのか働き方に悩むようになりました。そんな時に訪問看護師の働き方に興味を持ちました。訪問看護師をしながら他にも自分のしたい事に挑戦する事を応援してくれる管理者とのご縁があり、訪問看護への転職を決意して現在に至ります。

SNS での看護学生へのサポート支援の始まりは、私自身の自己学習のアウトプットから始まりました。私が勉強した事やまとめた内容を看護学生が見てくれて「勉強になります」「投稿を見て勉強したことで、実習で先生に褒められました」「関連図の投稿して頂けませんか」などたくさんメッセージを頂くようになった事で、自分の為にしていたアウトプットが学生の役に立ってるんだと気付きました。

私が学生の時は周りに看護師の先輩がたくさんいた事もあり、分からない事や勉強方法など相談する方がいました。しかし、学生のほとんどは周りに看護師の先輩や相談出来る方はいません。私自身先輩や周りの方に助けられて今があるので、SNS を通じて一人でも多くの学生の力になり相談できる存在になりたいと思いました。アドバイスしている内に「実習乗り越えました」「分かりやすくて理解できました」などの言葉を頂き、辛かったり不安がある学生をサポートする事も看護の一種だと感じるようになりました。

今まで SNS を通じて全国の学生をサポートしてきましたが、去年から和歌山県看護連盟の活動を通して和歌山県の看護学生に対しても何か出来ることはないかと活動しています。和歌山の看護学生は楽しく勉学でき、看護師になってから働き方なども困らないような選択が出来るよう学生と看護師が交流出来る場を計画するなど和歌山の看護業界の活性化に取り組みます。



青 年 部 活 動 報 告

2023.08.19.sut.14:00-

和歌山県看護連盟



【開催日時】

2023年8月19日(土) 14:00～

【開催場所】

プラザホープ

和歌山県和歌山市北出島1丁目5-47
和歌山県勤労福祉会館

【プログラム】

1. 会長挨拶
2. 病院アピールコンテスト
3. 投票、歓談
4. D-MAT 講義
5. 青年部長挨拶



和歌山県看護連盟

TEL: 073-488-6575

<https://www.kangorenmei-wakayama.jp>

和歌山県看護連盟 青年部

部長 古田 雄也



近年看護師の人手不足が深刻な事態となっています。それに輪をかけてコロナ禍となり看護師への負担が増えたことで、看護師の離職率も上昇しています。

学生を対象に行ったアンケート調査では実習の機会が少なくなったことや、学生同士の交流もなく、リアルな現場の話や就職先の選定の話、勉強の方法などを聞きたいという声が聞かれました。また県内各病院より新卒看護師の人材確保が難しいとの声を多数耳にしました。

そこで和歌山県看護連盟は、8/19(土)にプラザホープにて県内の病院看護師・看護学生の交流会を開催いたします。

病院の若手スタッフから看護学生達に自施設をアピールする「病院アピールコンテスト」を開催します。各病院の特徴や強みを、直接看護学生に伝えてもらうことで、新卒看護師の人材確保のお手伝いのできればと考えたためです。

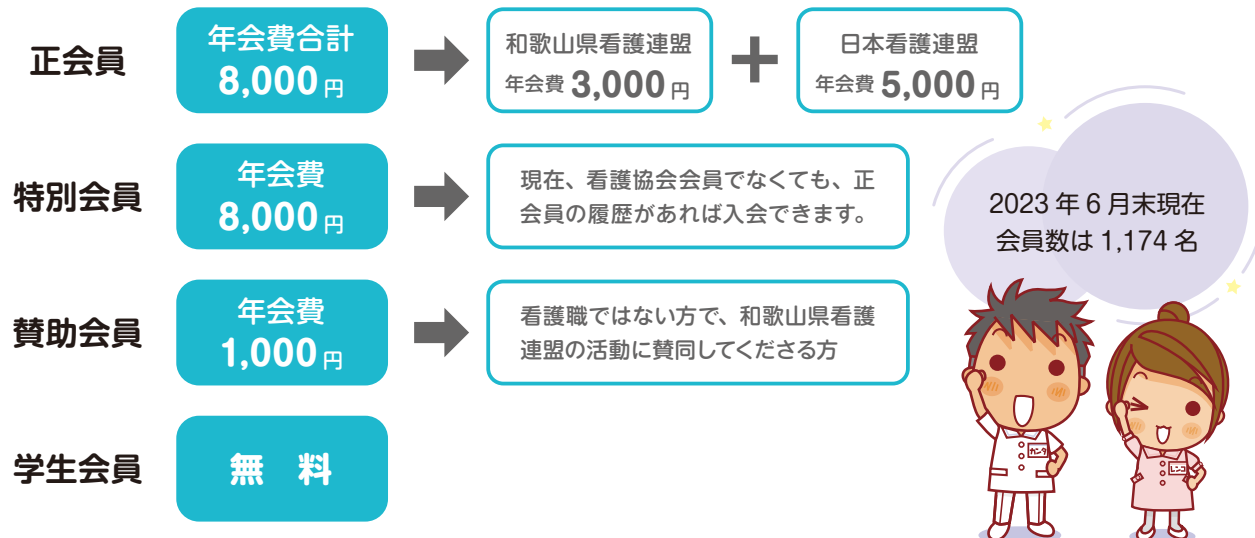
現役看護師との交流や、他の学校の生徒との交流を望む看護学生も多く、病院と看護学生、お互いのニーズを満たす良い機会ではないかと考えています。定期的に開催する予定ですが、交流会の中で、認定看護師や専門看護師・特定行為研修修了者の紹介なども入れていく予定です。

今回はD-MAT(災害派遣医療チーム)の講習予定にしています。活動紹介や医療ドラマとの違いなどリアルを楽しく学び、将来のキャリア選択に活かされることを期待しています。

未来の看護師達と直接意見交換できる貴重な機会となっています。より多くの病院、看護師が参加してくれることを期待しています。よろしくお願いします。



看護の未来を作るのは、会員一人ひとりの力です！ ＝ 2023 年度会員募集しています ＝



現職を退職された後も、看護の未来のために、看護連盟会員としてぜひ継続を！

友人、知人でまだ会員でない方がおられましたら、入会をすすめていただき会員増をめざしましょう。
入会申し込みは、和歌山県看護連盟までご連絡ください。



当県を含む各地で例年より早い梅雨の到来と台風等が重なった自然災害の発生によって甚大な被害が発生し、地域、各施設における防災対策の見直しを行うきっかけになったかと思われます。被害にあわれた施設も多く、お悔やみ申し上げます。

(広報委員一同)



東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

今よりもぐっすり、
幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- メンタルヘルス研修
- 学校保健委員会
- 高齢者の睡眠ケア

*他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに関しましては、二次元バーコードよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所

和歌山県和歌山市吹屋町3-44フリーコール



0120-32-7766